

## 第4章 人権問題に関する経験

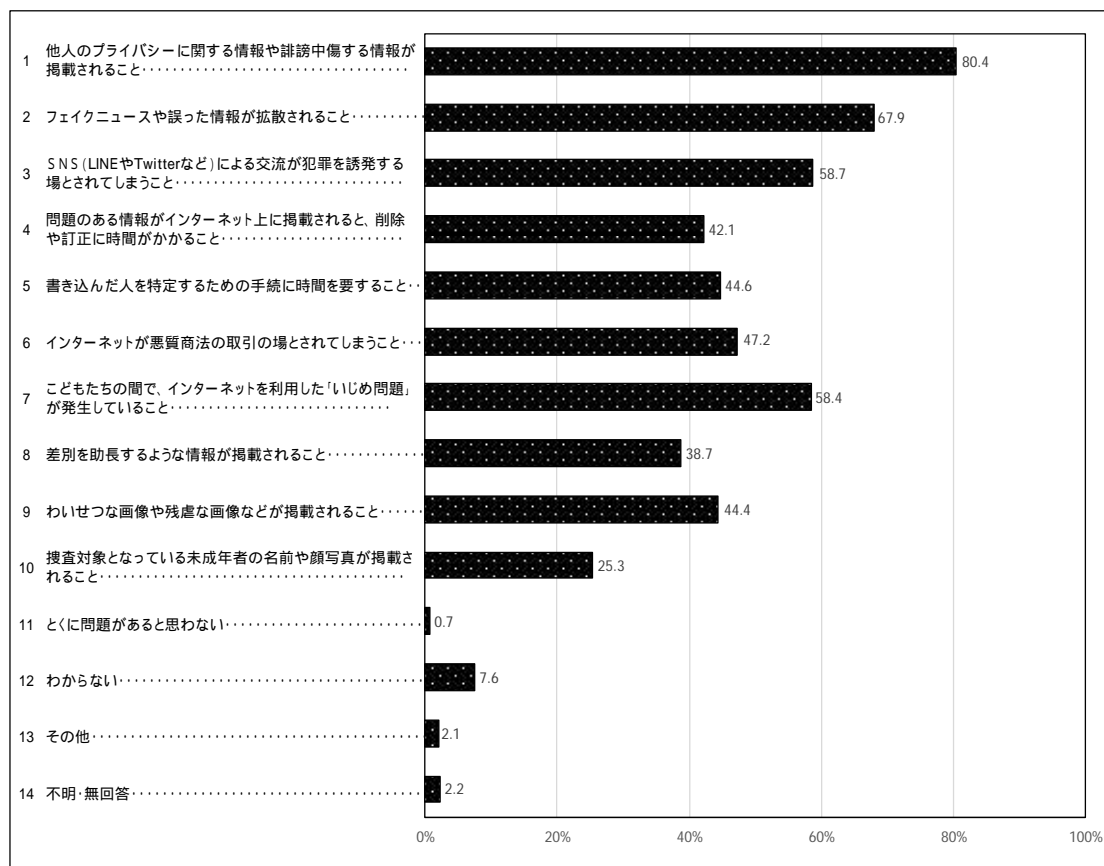
### 4-1. インターネットにおける人権侵害に関する問題

問11 あなたは、インターネットにおける人権侵害に関することで、どのような問題があると思いますか。(はいくつでも)

【表4-1-1 インターネットにおける人権侵害に関する問題】

	(上段:人、下段:%)														
	他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること	フェイクニュースや誤った情報が拡散されること	SNS(LINEやTwitterなど)による交流が犯罪を誘発する場とされてしまうこと	問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかること	書き込んだ人を特定するための手続きに時間を要すること	インターネットが悪質商法の取引の場とされてしまうこと	子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生していること	差別を助長するような情報が掲載されること	わいせつな画像や残虐な画像などが掲載されること	捜査対象となっている未成年者の名前や顔写真が掲載されること	とくに問題があると思わない	わからない	その他	不明・無回答	合計
市全体	584	493	426	306	324	343	424	281	322	184	5	55	15	16	726
	80.4	67.9	58.7	42.1	44.6	47.2	58.4	38.7	44.4	25.3	0.7	7.6	2.1	2.2	100.0

【図4-1 インターネットにおける人権侵害に関する問題】



インターネットにおける人権侵害に関することでどのような問題があるか尋ねたところ、「1.他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること」と回答した割合が80.4%と最も高く、次いで「2. フェイクニュースや誤った情報が拡散されること」が67.9%、「3. SNS (LINE や Twitter など) による交流が犯罪を誘発する場とされてしまうこと」が58.7%となっている。

性別でみると、男性では「1.他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること」が78.1%と最も高く、次いで「2. フェイクニュースや誤った情報が拡散されること」が66.8%、「3. SNS (LINE や Twitter など) による交流が犯罪を誘発する場とされてしまうこと」が53.4%となっている。

女性では「1.他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること」が83.8%と最も高く、次いで「2. フェイクニュースや誤った情報が拡散されること」が69.4%、「7. こどもたちの間で、インターネットを利用した『いじめ問題』が発生していること」が64.9%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての年代で「1.他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること」であり、数値は10歳代100.0%、20歳代87.9%、30歳代92.8%、40歳代92.4%、50歳代86.9%、60歳代82.8%、70歳代以上58.9%となっている。

【表4-1-2】

【表4-1-2 性別・年齢別 インターネットにおける人権侵害に関する問題】

		(上段:人,下段: %)															
		誹他人の 謗中傷する 情報が掲載 されること や	散されること フェイク ニュースや 誤った情報 が拡散され ること	SNS(LINE やTwitterな ど)による交 流が犯罪を 誘発する場 とされてしま うこと	問題のある 情報がイン ターネット 上に掲載さ れること、 削除や訂正 に時間がか かること	書き込んだ 人を特定す るための手 続	インターネット が悪質商法 の取引の場 とされてしま うこと	こどもたち の間で、イン ターネット が利用した 「いじめ問 題」が発生 していること	差別を助長 するよう な情報が 掲載され ること	わいせつな 画像や残 虐な画像 などが掲 載される こと	捜査対象 となってい る未成年 者の名 前や顔写 真が掲載 されるこ と	とくに問 題がある と思わな い	わからな い	その他	不明・無 回答	合計	
市全体		584 80.4	493 67.9	426 58.7	306 42.1	324 44.6	343 47.2	424 58.4	281 38.7	322 44.4	184 25.3	5 0.7	55 7.6	15 2.1	16 2.2	726 100.0	
性別	男性	228 78.1	195 66.8	156 53.4	123 42.1	139 47.6	139 47.6	149 51.0	106 36.3	108 37.0	56 19.2	4 1.4	23 7.9	7 2.4	4 1.4	292 100.0	
	女性	332 83.8	275 69.4	248 62.6	167 42.2	172 43.4	186 47.0	257 64.9	159 40.2	194 49.0	116 29.3	1 0.3	29 7.3	8 2.0	5 1.3	396 100.0	
	その他、回答したくない	12 85.7	10 71.4	9 64.3	6 42.9	4 28.6	7 50.0	9 64.3	7 50.0	8 57.1	5 35.7	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	14 100.0	
	不明・無回答	12 50.0	13 54.2	13 54.2	10 41.7	9 37.5	11 45.8	9 37.5	9 37.5	12 50.0	7 29.2	0 0.0	2 8.3	0 0.0	6 25.0	24 100.0	
	不明・無回答	6 100.0	4 66.7	4 66.7	2 33.3	2 33.3	3 50.0	4 66.7	2 33.3	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0
年齢別	10歳代	51 87.9	42 72.4	38 65.5	26 44.8	22 37.9	26 44.8	38 65.5	22 37.9	24 41.4	17 29.3	1 1.7	1 1.7	0 0.0	0 0.0	58 100.0	
	20歳代	103 92.8	90 81.1	70 63.1	55 49.5	59 53.2	50 45.0	83 74.8	55 49.5	56 50.5	29 26.1	0 0.0	2 1.8	1 0.9	0 0.0	111 100.0	
	30歳代	109 92.4	94 79.7	84 71.2	58 49.2	67 56.8	61 51.7	78 66.1	53 44.9	66 55.9	41 34.7	1 0.8	3 2.5	2 1.7	0 0.0	118 100.0	
	40歳代	106 86.9	95 77.9	78 63.9	60 49.2	61 50.0	72 59.0	79 64.8	47 38.5	62 50.8	34 27.9	0 0.0	4 3.3	2 1.6	0 0.0	122 100.0	
	50歳代	96 82.8	83 71.6	68 58.6	49 42.2	62 53.4	67 57.8	71 61.2	51 44.0	51 44.0	27 23.3	0 0.0	7 6.0	2 1.7	1 0.9	116 100.0	
	60歳代	103 58.9	74 42.3	73 41.7	48 27.4	44 25.1	56 32.0	64 36.6	43 24.6	50 28.6	29 16.6	3 1.7	37 21.1	8 4.6	10 5.7	175 100.0	
	70歳以上	10 50.0	11 55.0	11 55.0	8 40.0	7 35.0	8 40.0	7 35.0	8 40.0	7 35.0	10 50.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	5 25.0	20 100.0
	不明・無回答	10 50.0	11 55.0	11 55.0	8 40.0	7 35.0	8 40.0	7 35.0	8 40.0	7 35.0	10 50.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	5 25.0	20 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての職業で「1.他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること」であり、数値は「自営業」84.3%、「民間正規雇用」89.3%、「公務員、教員」95.0%、「非正規雇用」89.2%、「家事専業、学生、無職」68.5%、となっている。【表4-1-3】

【表4-1-3 職業別 インターネットにおける人権侵害に関する問題】

		(上段:人、下段:%)															
		他人のプライバシー情報が掲載される情報ことや	フェイスブックや誤った情報が拡散されること	SNS(LINEやTwitterなど)による交流が犯罪を誘発する場とされてしまうこと	問題のある情報が削除や訂正に時間がかかると	問題のある情報が削除や訂正に時間がかかると	書き込んだ人を特定するための手順に時間を要すること	インターネットが悪質商法の取引の場とされてしまうこと	インターネットの間で、インターネットが発生していること	差別を助長するような情報が掲載されること	掲載された画像や残虐な画像などが	前や顔写真が掲載されている未成年者の名	とくに問題があると思わない	わからない	その他	不明・無回答	合計
市全体		584	493	426	306	324	343	424	281	322	184	5	55	15	16	726	
		80.4	67.9	58.7	42.1	44.6	47.2	58.4	38.7	44.4	25.3	0.7	7.6	2.1	2.2	100.0	
職業別	自営業	86	79	68	46	53	57	64	41	56	27	2	3	6	0	102	
		84.3	77.5	66.7	45.1	52.0	55.9	62.7	40.2	54.9	26.5	2.0	2.9	5.9	0.0	100.0	
	民間正規雇用	167	153	117	94	99	91	117	78	84	47	1	4	2	0	187	
		89.3	81.8	62.6	50.3	52.9	48.7	62.6	41.7	44.9	25.1	0.5	2.1	1.1	0.0	100.0	
	公務員、教員	19	14	12	12	13	12	16	11	11	6	0	0	0	0	20	
		95.0	70.0	60.0	60.0	65.0	60.0	80.0	55.0	55.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	非正規雇用	132	108	99	61	71	74	98	69	74	47	0	7	0	1	148	
89.2		73.0	66.9	41.2	48.0	50.0	66.2	46.6	50.0	31.8	0.0	4.7	0.0	0.7	100.0		
家事専業、学生、無職	170	127	120	84	81	102	120	73	87	51	2	40	7	10	248		
	68.5	51.2	48.4	33.9	32.7	41.1	48.4	29.4	35.1	20.6	0.8	16.1	2.8	4.0	100.0		
不明・無回答	10	12	10	9	7	7	9	9	10	6	0	1	0	5	21		
	47.6	57.1	47.6	42.9	33.3	33.3	42.9	42.9	47.6	28.6	0.0	4.8	0.0	23.8	100.0		

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「1.他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること」であり、数値は「中学卒」54.9%、「高校卒」77.7%、「短大卒」88.4%、「大学卒」90.1%となっている。【表4-1-4】

【表4-1-4 学歴別 インターネットにおける人権侵害に関する問題】

		(上段:人,下段:%)																		
		誹謗中傷する情報が掲載される情報と	他人のプライバシーに関する情報や	散らかること	フェイクニュースや誤った情報が拡散されること	SNS(LINEやTwitterなど)による交流が犯罪を誘発する場とな	問題のある情報、削除や訂正ネット上に	問題のある情報を特定するための手続	書き込んだ人を特定すること	場とされてしまうこと	インターネットが悪質商法の取引の	利用した間、インターネットがネット	差別を助長するような情報が掲載さ	掲載されること	捜査対象となつていない未成年者の名	とくに問題があると思わない	わからない	その他	不明・無回答	合計
市全体		584	493	426	306	324	343	424	281	322	184	5	55	15	16	726				
		80.4	67.9	58.7	42.1	44.6	47.2	58.4	38.7	44.4	25.3	0.7	7.6	2.1	2.2	100.0				
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	39	23	20	21	20	20	30	15	22	15	2	16	2	6	71				
		54.9	32.4	28.2	29.6	28.2	28.2	42.3	21.1	31.0	21.1	2.8	22.5	2.8	8.5	100.0				
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	202	163	157	104	119	126	139	94	115	71	2	28	9	2	260				
		77.7	62.7	60.4	40.0	45.8	48.5	53.5	36.2	44.2	27.3	0.8	10.8	3.5	0.8	100.0				
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	152	141	118	77	86	89	118	71	87	45	0	4	2	2	172				
		88.4	82.0	68.6	44.8	50.0	51.7	68.6	41.3	50.6	26.2	0.0	2.3	1.2	1.2	100.0				
	4.大学、大学院	172	149	116	90	89	98	124	89	85	45	1	5	2	1	191				
		90.1	78.0	60.7	47.1	46.6	51.3	64.9	46.6	44.5	23.6	0.5	2.6	1.0	0.5	100.0				
	5.その他	10	6	5	6	4	3	5	4	4	3	0	1	0	0	11				
		90.9	54.5	45.5	54.5	36.4	27.3	45.5	36.4	36.4	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	100.0				
不明・無回答	9	11	10	8	6	7	8	8	9	5	0	1	0	5	21					
	42.9	52.4	47.6	38.1	28.6	33.3	38.1	38.1	42.9	23.8	0.0	4.8	0.0	23.8	100.0					

## 4 - 2 . 人権問題についての学習

### ( 1 ) 学習したことのある分野

問 1 2 次の人権問題について、あなたが、学習した(または啓発などを受けた)ことのある分野  
すべてに をつけてください。( はいいくつでも)

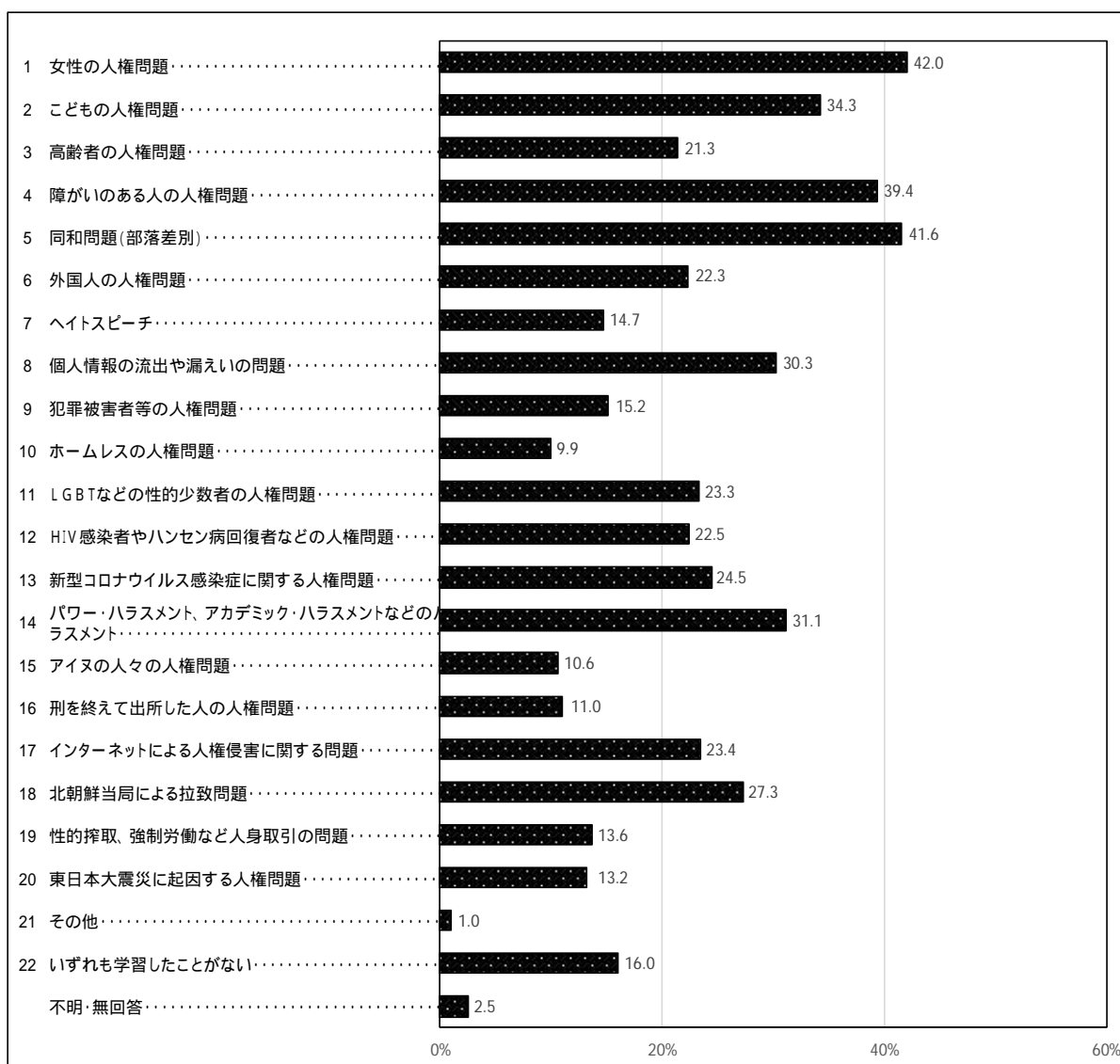
【表 4 - 2 - 1 - 1 学習したことのある分野】

(上段:人、下段: %)

	女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題(部落差別)	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	個人情報の流出や漏えいの問題	犯罪被害者等の人権問題	ホームレスの人権問題	LGBTなどの性的少数者の人権問題	HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題
市全体	305 42.0	249 34.3	155 21.3	286 39.4	302 41.6	162 22.3	107 14.7	220 30.3	110 15.2	72 9.9	169 23.3	163 22.5

	新型コロナウイルス感染症に関する人権問題	パワー・ハラメントなどのハラメント、アカデミック・ハラ	アイヌの人々の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	いずれも学習したことがない	不明・無回答	合計
市全体	178 24.5	226 31.1	77 10.6	80 11.0	170 23.4	198 27.3	99 13.6	96 13.2	7 1.0	116 16.0	18 2.5	726 100.0

【図4-2-1 学習したことのある分野】（はいくつでも）



人権問題について学習したことのある分野を尋ねたところ、「1. 女性の人権問題」と回答した割合が42.0%と最も高く、次いで「5.同和問題（部落差別）」が41.6%、「4. 障がいのある人の人権問題」が39.4%となっている。

性別で見ると、男性では「5.同和問題（部落差別）」が41.8%と最も高く、次いで「4. 障がいのある人の人権問題」が40.4%、「1. 女性の人権問題」が38.0%となっている。

女性では「1. 女性の人権問題」が44.7%と最も高く、次いで「5.同和問題（部落差別）」が43.2%、「4. 障がいのある人の人権問題」が39.9%となっている。

年齢別で見ると、答えた人の割合が最も高いのは、10 歳代では「1. 女性の人権問題」「4. 障がいのある人の人権問題」「11. L G B Tなどの性的少数者の人権問題」でそれぞれ66.7%、20 歳代、30 歳代では「1. 女性の人権問題」であり、数値は各々69.0%、59.5%となっており、40 歳代、50 歳代、60 歳代では「5.同和問題（部落差別）」で各々61.0%、44.3%、45.7%となっており、70 歳代以上では「22. いずれも学習したことがない」で26.9%となっている。【表4 - 2 - 1 - 2】

【表4-2-1-2 性別・年齢別 学習したことのある分野】

(上段:人、下段: %)

		女性の 人権問題	こども の人権問題	高齢者 の人権問題	障がい のある 人の 人権 問題	同和 問題 (部落 差別)	外国人 の人権 問題	ヘイト スピー チ	個人情 報の流 出や漏 え	犯罪被 害者等 の人権 問題	ホーム レスの 人権問 題	LGBT などの 性的少 数者の 人権問 題	HIV感 染者な どの人 権問題
市全体		305	249	155	286	302	162	107	220	110	72	169	163
性別	男性	42.0	34.3	21.3	39.4	41.6	22.3	14.7	30.3	15.2	9.9	23.3	22.5
		111	92	63	118	122	64	53	96	42	33	60	60
	38.0	31.5	21.6	40.4	41.8	21.9	18.2	32.9	14.4	11.3	20.5	20.5	
	女性	177	146	85	158	171	90	47	113	61	36	99	93
		44.7	36.9	21.5	39.9	43.2	22.7	11.9	28.5	15.4	9.1	25.0	23.5
その他、回答したくない	9	4	4	4	5	5	4	4	4	2	6	5	
不明・無回答	64.3	28.6	28.6	28.6	35.7	35.7	28.6	28.6	28.6	14.3	42.9	35.7	
	8	7	3	6	4	3	3	7	3	1	4	5	
		33.3	29.2	12.5	25.0	16.7	12.5	12.5	29.2	12.5	4.2	16.7	20.8
年齢別	10歳代	4	4	2	4	1	3	2	3	0	1	4	3
		66.7	66.7	33.3	66.7	16.7	50.0	33.3	50.0	0.0	16.7	66.7	50.0
	20歳代	40	28	15	33	23	20	9	29	10	8	26	20
		69.0	48.3	25.9	56.9	39.7	34.5	15.5	50.0	17.2	13.8	44.8	34.5
	30歳代	66	50	21	61	58	42	25	50	22	14	44	41
		59.5	45.0	18.9	55.0	52.3	37.8	22.5	45.0	19.8	12.6	39.6	36.9
	40歳代	57	48	19	56	72	33	20	34	24	13	29	33
		48.3	40.7	16.1	47.5	61.0	28.0	16.9	28.8	20.3	11.0	24.6	28.0
	50歳代	50	42	28	40	54	25	16	37	17	13	29	25
		41.0	34.4	23.0	32.8	44.3	20.5	13.1	30.3	13.9	10.7	23.8	20.5
	60歳代	48	35	30	40	53	17	16	38	17	12	21	20
		41.4	30.2	25.9	34.5	45.7	14.7	13.8	32.8	14.7	10.3	18.1	17.2
	70歳以上	33	34	38	47	37	20	16	23	17	10	13	16
		18.9	19.4	21.7	26.9	21.1	11.4	9.1	13.1	9.7	5.7	7.4	9.1
不明・無回答	7	8	2	5	4	2	3	6	3	1	3	5	
	35.0	40.0	10.0	25.0	20.0	10.0	15.0	30.0	15.0	5.0	15.0	25.0	

		新型コロナウイルス に関する 人権問題	アバ カワ ーハ ック ラ・ スマ ラント スト ム	アイ ヌの 人々 の人 権問 題	刑を 終え て出 所し た人 の人 権問 題	権を 侵害 する こと に関 する 問題	イン ター ネッ トに よる 人 権問 題	北朝 鮮当 局に よる 拉致 問題	性的 搾取 の問 題	東日 本大 震災 に起 因す る 人 権問 題	その他	ない ずれ も学 習し たこ とが	不明 ・無 回答	合計
市全体		178	226	77	80	170	198	99	96	7	116	18	726	
性別	男性	24.5	31.1	10.6	11.0	23.4	27.3	13.6	13.2	1.0	16.0	2.5	100.0	
		69	95	32	34	68	80	37	41	5	47	3	292	
	23.6	32.5	11.0	11.6	23.3	27.4	12.7	14.0	1.7	16.1	1.0	100.0		
	女性	99	118	38	41	93	105	57	51	2	64	8	396	
		25.0	29.8	9.6	10.4	23.5	26.5	14.4	12.9	0.5	16.2	2.0	100.0	
その他、回答したくない	5	6	4	1	5	4	3	2	0	2	1	14		
不明・無回答	35.7	42.9	28.6	7.1	35.7	28.6	21.4	14.3	0.0	14.3	7.1	100.0		
	5	7	3	4	4	9	2	2	0	3	6	24		
		20.8	29.2	12.5	16.7	16.7	37.5	8.3	8.3	0.0	12.5	25.0	100.0	
年齢別	10歳代	1	3	1	1	5	1	3	1	0	0	0	6	
		16.7	50.0	16.7	16.7	83.3	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0	
	20歳代	14	23	11	8	22	13	10	9	1	5	0	58	
		24.1	39.7	19.0	13.8	37.9	22.4	17.2	15.5	1.7	8.6	0.0	100.0	
	30歳代	24	44	20	20	33	21	22	15	1	3	1	111	
		21.6	39.6	18.0	18.0	29.7	18.9	19.8	13.5	0.9	2.7	0.9	100.0	
	40歳代	31	43	19	16	33	36	22	16	1	8	0	118	
		26.3	36.4	16.1	13.6	28.0	30.5	18.6	13.6	0.8	6.8	0.0	100.0	
	50歳代	39	41	7	15	23	36	13	21	1	23	0	122	
		32.0	33.6	5.7	12.3	18.9	29.5	10.7	17.2	0.8	18.9	0.0	100.0	
	60歳代	25	42	8	10	27	29	7	13	2	17	3	116	
		21.6	36.2	6.9	8.6	23.3	25.0	6.0	11.2	1.7	14.7	2.6	100.0	
	70歳以上	41	24	9	7	23	55	20	20	1	58	9	175	
		23.4	13.7	5.1	4.0	13.1	31.4	11.4	11.4	0.6	33.1	5.1	100.0	
不明・無回答	3	6	2	3	4	7	2	1	0	2	5	20		
	15.0	30.0	10.0	15.0	20.0	35.0	10.0	5.0	0.0	10.0	25.0	100.0		



職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」では「5.同和問題(部落差別)」であり、数値は各々45.1%、53.5%、43.2%となっており、「公務員、教員」「家事専業、学生、無職」では「1. 女性の人権問題」であり、各々85.0%、32.7%となっている。なお「家事専業、学生、無職」では「4. 障がいのある人の人権問題」に同率となっている。

【表4-2-1-3】

【表4-2-1-3 職業別 学習したことのある分野】

		(上段:人、下段: %)											
		女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題(部落差別)	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	個人情報情報の流出や漏えいの問題	犯罪被害者等の人権問題	ホームレスの人権問題	LGBTなどの性的少数者の人権問題	HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題
市全体		305 42.0	249 34.3	155 21.3	286 39.4	302 41.6	162 22.3	107 14.7	220 30.3	110 15.2	72 9.9	169 23.3	163 22.5
職業別	自営業	39 38.2	39 38.2	19 18.6	36 35.3	46 45.1	28 27.5	18 17.6	25 24.5	21 20.6	13 12.7	20 19.6	25 24.5
	民間正規雇用	97 51.9	74 39.6	36 19.3	85 45.5	100 53.5	47 25.1	37 19.8	81 43.3	32 17.1	19 10.2	60 32.1	54 28.9
	公務員、教員	17 85.0	14 70.0	8 40.0	14 70.0	16 80.0	13 65.0	6 30.0	12 60.0	8 40.0	5 25.0	13 65.0	7 35.0
	非正規雇用	61 41.2	50 33.8	37 25.0	63 42.6	64 43.2	29 19.6	16 10.8	38 25.7	22 14.9	16 10.8	33 22.3	31 20.9
家事専業、学生、無職	81 32.7	63 25.4	53 21.4	81 32.7	68 27.4	40 16.1	26 10.5	58 23.4	25 10.1	18 7.3	39 15.7	39 15.7	
不明・無回答	10 47.6	9 42.9	2 9.5	7 33.3	8 38.1	5 23.8	4 19.0	6 28.6	2 9.5	1 4.8	4 19.0	7 33.3	

		新型コロナウイルス感染症	パワハラ・ストーカー	アイヌの人々の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	性的搾取の問題、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	いずれも学習しなかった	不明・無回答	合計
市全体		178 24.5	226 31.1	77 10.6	80 11.0	170 23.4	198 27.3	99 13.6	96 13.2	7 1.0	116 16.0	18 2.5	726 100.0
職業別	自営業	24 23.5	22 21.6	11 10.8	13 12.7	20 19.6	33 32.4	17 16.7	14 13.7	1 1.0	19 18.6	2 2.0	102 100.0
	民間正規雇用	43 23.0	83 44.4	30 16.0	29 15.5	56 29.9	44 23.5	25 13.4	27 14.4	2 1.1	14 7.5	1 0.5	187 100.0
	公務員、教員	5 25.0	14 70.0	5 25.0	4 20.0	6 30.0	6 30.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 100.0
	非正規雇用	39 26.4	44 29.7	10 6.8	20 13.5	32 21.6	36 24.3	25 16.9	22 14.9	1 0.7	19 12.8	3 2.0	148 100.0
家事専業、学生、無職	63 25.4	55 22.2	19 7.7	11 4.4	51 20.6	72 29.0	26 10.5	30 12.1	3 1.2	63 25.4	7 2.8	248 100.0	
不明・無回答	4 19.0	8 38.1	2 9.5	3 14.3	5 23.8	7 33.3	2 9.5	1 4.8	0 0.0	1 4.8	5 23.8	21 100.0	

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「22. いずれも学習したことがない」で39.4%、「高校卒」「大学卒」では「1. 女性の人権問題」であり、各々36.5%、58.6%となっており、「短大卒」では「5.同和問題（部落差別）」で49.4%となっている。【表4 - 2 - 1 - 4】

【表4 - 2 - 1 - 4 学歴別 学習したことの分野】

(上段:人,下段: %)

		女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題（部落差別）	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	個人情報流出や漏えいの問題	犯罪被害者等の人権問題	ホームレスの人権問題	LGBTなどの性的少数者の人権問題	HIV感染者やH7N9などの人権問題
市全体		305	249	155	286	302	162	107	220	110	72	169	163
		42.0	34.3	21.3	39.4	41.6	22.3	14.7	30.3	15.2	9.9	23.3	22.5
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	7	8	9	15	12	8	6	11	4	4	6	7
		9.9	11.3	12.7	21.1	16.9	11.3	8.5	15.5	5.6	5.6	8.5	9.9
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	95	78	61	87	91	48	27	64	32	22	45	43
		36.5	30.0	23.5	33.5	35.0	18.5	10.4	24.6	12.3	8.5	17.3	16.5
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	80	70	43	78	85	33	24	56	23	14	42	44
		46.5	40.7	25.0	45.3	49.4	19.2	14.0	32.6	13.4	8.1	24.4	25.6
	4.大学、大学院	112	81	38	97	102	67	45	81	46	29	69	60
		58.6	42.4	19.9	50.8	53.4	35.1	23.6	42.4	24.1	15.2	36.1	31.4
5.その他	2	4	1	3	5	2	1	2	2	2	3	3	
	18.2	36.4	9.1	27.3	45.5	18.2	9.1	18.2	18.2	18.2	27.3	27.3	
不明・無回答	9	8	3	6	7	4	4	6	3	1	4	6	
	42.9	38.1	14.3	28.6	33.3	19.0	19.0	28.6	14.3	4.8	19.0	28.6	

		新型コロナウイルス感染症	パワハラ・セクハラ・モラハラ・ストメン、トア	アイヌの人々の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	いずれも学習したことがない	不明・無回答	合計
市全体		178	226	77	80	170	198	99	96	7	116	18	726
		24.5	31.1	10.6	11.0	23.4	27.3	13.6	13.2	1.0	16.0	2.5	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	14	7	4	6	15	18	8	7	0	28	6	71
		19.7	9.9	5.6	8.5	21.1	25.4	11.3	9.9	0.0	39.4	8.5	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	67	66	22	25	48	76	23	35	3	52	3	260
		25.8	25.4	8.5	9.6	18.5	29.2	8.8	13.5	1.2	20.0	1.2	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	42	59	19	14	47	45	25	24	0	18	1	172
		24.4	34.3	11.0	8.1	27.3	26.2	14.5	14.0	0.0	10.5	0.6	100.0
	4.大学、大学院	47	85	29	30	54	48	39	28	4	16	2	191
		24.6	44.5	15.2	15.7	28.3	25.1	20.4	14.7	2.1	8.4	1.0	100.0
5.その他	4	2	1	1	2	4	2	1	0	1	1	11	
	36.4	18.2	9.1	9.1	18.2	36.4	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	100.0	
不明・無回答	4	7	2	4	4	7	2	1	0	1	5	21	
	19.0	33.3	9.5	19.0	19.0	33.3	9.5	4.8	0.0	4.8	23.8	100.0	

(2) 一番印象に残っている学習分野

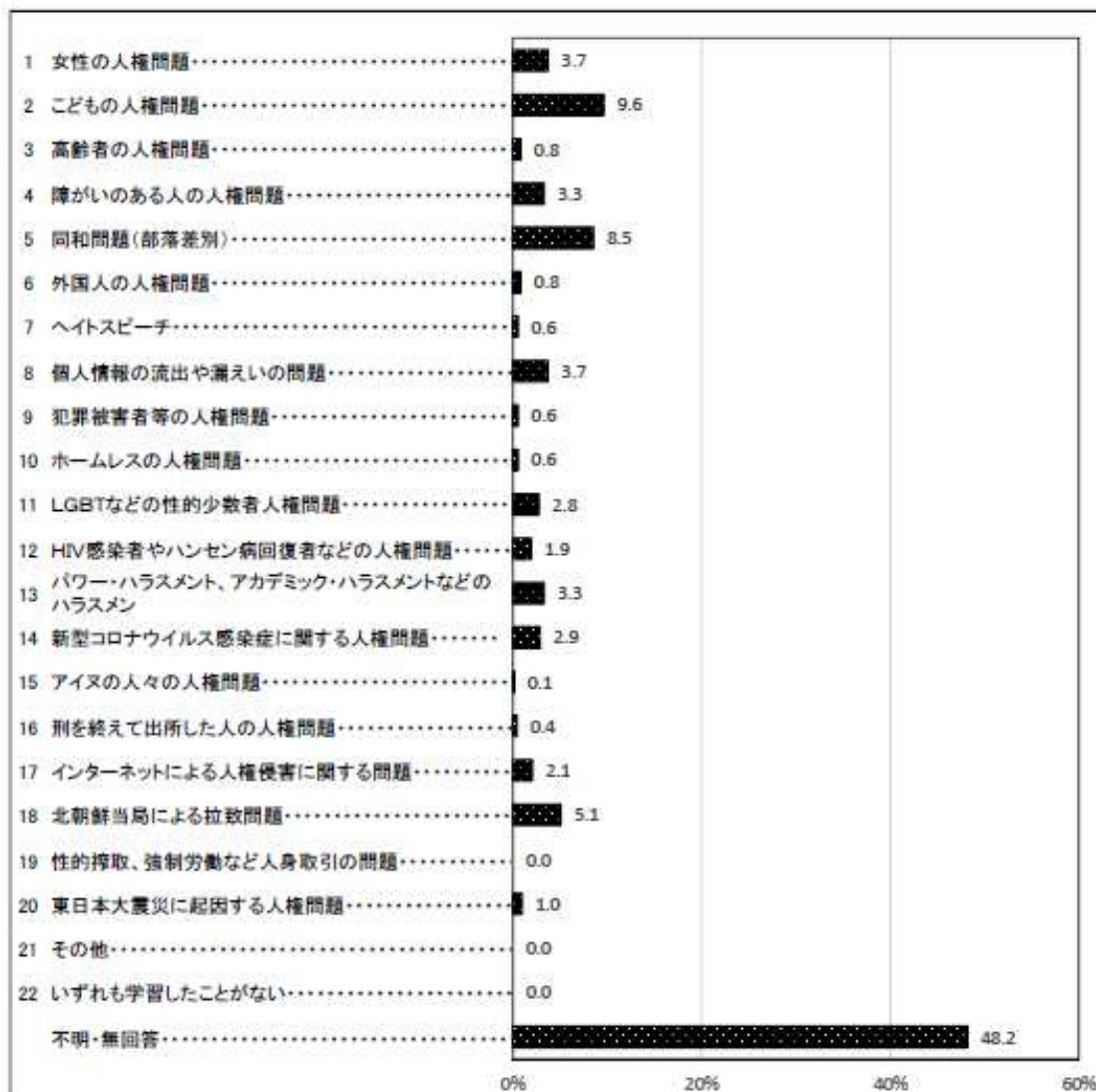
問12-2 また、その中で、一番印象に残っている分野に を付けてください。  
( は1つ)

【表4-2-2-1 一番印象に残っている学習分野】

	女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題(部落差別)	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	個人情報の流出や漏えいの問題	犯罪被害者等の人権問題	ホームレスの人権問題	LGBTなどの性的少数者の人権問題	HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題
市全体	27 3.7	70 9.6	6 0.8	24 3.3	62 8.5	6 0.8	4 0.6	27 3.7	4 0.6	4 0.6	20 2.8	14 1.9

	新型コロナウイルス感染症に関する人権問題	パワー・ハラスメント、アカデミック・ハラスメントなどのハラスメント	アイヌの人々の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	いずれも学習したことがない	不明・無回答	合計
市全体	24 3.3	21 2.9	1 0.1	3 0.4	15 2.1	37 5.1	0 0.0	7 1.0	0 0.0	0 0.0	350 48.2	726 100.0

【図4-2-2 1 一番印象に残っている学習分野】 ( は1つ)



人権問題について学習した中でいちばん印象に残っているものについて尋ねたところ、「2.こどもの人権問題」と答えた人の割合が9.6%と最も高く、次いで「5.同和問題(部落差別)」が8.5%、「18.北朝鮮当局による拉致問題」が5.1%となっている。

性別で見ると、男性では「5.同和問題（部落差別）」が9.9%と最も高く、次いで「2.こどもの人権問題」が6.8%、「8.個人情報の流出や漏えいの問題」が5.1%となっている。

女性では「2.こどもの人権問題」が12.1%と最も高く、次いで「5.同和問題（部落差別）」が8.1%、「18.北朝鮮当局による拉致問題」が5.6%となっている。

年齢別で見ると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代、30歳代、50歳代では「2.こどもの人権問題」であり、数値は各々33.3%、16.2%、10.7%、20歳代では「1. 女性の人権問題」で12.1%、40歳代、60歳代では「5.同和問題（部落差別）」であり、数値は各々16.1%、12.9%、70歳代以上では「18.北朝鮮当局による拉致問題」で9.7%となっている。【表4 - 2 - 2 - 2】

【表4-2-2-2 性別・年齢別 一番印象に残っている学習分野】

(上段:人、下段:%)

		女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題(部落差別)	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	個人情報の流出や漏えいの問題	犯罪被害者等の人権問題	ホームレスの人権問題	LGBTなどの性的少数者の人権問題	HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題
市全体		27 3.7	70 9.6	6 0.8	24 3.3	62 8.5	6 0.8	4 0.6	27 3.7	4 0.6	4 0.6	20 2.8	14 1.9
性別	男性	5 1.7	20 6.8	3 1.0	8 2.7	29 9.9	4 1.4	3 1.0	15 5.1	2 0.7	1 0.3	7 2.4	5 1.7
	女性	21 5.3	48 12.1	3 0.8	15 3.8	32 8.1	2 0.5	0 0.0	10 2.5	2 0.5	3 0.8	12 3.0	7 1.8
	その他、回答したくない	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1
	不明・無回答	1 4.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2
	不明・無回答	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
年齢別	10歳代	7 12.1	5 8.6	0 0.0	4 6.9	1 1.7	1 1.7	1 1.7	5 8.6	0 0.0	1 1.7	4 6.9	3 5.2
	20歳代	5 4.5	18 16.2	1 0.9	9 8.1	10 9.0	1 0.9	1 0.9	8 7.2	1 0.9	1 0.9	12 10.8	4 3.6
	30歳代	4 3.4	13 11.0	0 0.0	6 5.1	19 16.1	3 2.5	0 0.0	4 3.4	1 0.8	1 0.8	1 0.8	3 2.5
	40歳代	2 1.6	13 10.7	1 0.8	1 0.8	12 9.8	0 0.0	0 0.0	3 2.5	1 0.8	0 0.0	2 1.6	0 0.0
	50歳代	4 3.4	9 7.8	0 0.0	2 1.7	15 12.9	0 0.0	1 0.9	4 3.4	1 0.9	1 0.9	1 0.9	2 1.7
	60歳代	4 2.3	9 5.1	4 2.3	1 0.6	5 2.9	1 0.6	0 0.0	3 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70歳以上	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0
	不明・無回答	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	不明・無回答	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	不明・無回答	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7

		新型コロナウイルスに関する人権問題	アカデミック・ハラスメント、パワハラなどのハラスメント	アイヌの人々の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	不明・無回答	合計
市全体		24 3.3	21 2.9	1 0.1	3 0.4	15 2.1	37 5.1	0 0.0	7 1.0	0 0.0	350 48.2	726 100.0
性別	男性	12 4.1	10 3.4	1 0.3	1 0.3	6 2.1	14 4.8	0 0.0	2 0.7	0 0.0	144 49.3	292 100.0
	女性	11 2.8	9 2.3	0 0.0	2 0.5	7 1.8	22 5.6	0 0.0	5 1.3	0 0.0	185 46.7	396 100.0
	その他、回答したくない	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 35.7	14 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 66.7	24 100.0
	不明・無回答	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	6 100.0
年齢別	10歳代	3 5.2	1 1.7	0 0.0	0 0.0	1 1.7	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 34.5	58 100.0
	20歳代	0 0.0	3 2.7	0 0.0	2 1.8	3 2.7	2 1.8	0 0.0	1 0.9	0 0.0	29 26.1	111 100.0
	30歳代	5 4.2	7 5.9	0 0.0	0 0.0	2 1.7	4 3.4	0 0.0	1 0.8	0 0.0	44 37.3	118 100.0
	40歳代	4 3.3	6 4.9	1 0.8	1 0.8	4 3.3	4 3.3	0 0.0	2 1.6	0 0.0	65 53.3	122 100.0
	50歳代	6 5.2	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9	7 6.0	0 0.0	2 1.7	0 0.0	59 50.9	116 100.0
	60歳代	6 3.4	2 1.1	0 0.0	0 0.0	2 1.1	17 9.7	0 0.0	1 0.6	0 0.0	120 68.6	175 100.0
	70歳以上	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 60.0	20 100.0
	不明・無回答	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	6 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「公務員、教員」「家事専業、学生、無職」では「2.こどもの人権問題」であり、数値は各々10.8%、25.0%、9.3%となっており、「民間正規雇用」「非正規雇用」では「5.同和問題（部落差別）」であり、数値は各々11.2%、12.8%となっている。【表4 - 2 - 2 - 3】

【表4 - 2 - 2 - 3 職業別 一番印象に残っている学習分野】

		(上段:人, 下段:%)											
		女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題（部落差別）	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	個人情報流出や漏えいの問題	犯罪被害者等の人権問題	ホームレスの人権問題	のLGBTなどの性的少数者の人権問題	回復者などの感染者やHIV感染者やハンセン病
市全体		27	70	6	24	62	6	4	27	4	4	20	14
		3.7	9.6	0.8	3.3	8.5	0.8	0.6	3.7	0.6	0.6	2.8	1.9
職業別	自営業	3	11	2	1	9	1	1	2	0	0	2	1
		2.9	10.8	2.0	1.0	8.8	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0	2.0	1.0
	民間正規雇用	6	18	0	8	21	1	0	11	1	2	9	5
		3.2	9.6	0.0	4.3	11.2	0.5	0.0	5.9	0.5	1.1	4.8	2.7
	公務員、教員	1	5	0	1	0	1	1	1	0	0	2	0
		5.0	25.0	0.0	5.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	非正規雇用	5	12	1	7	19	0	0	6	2	2	3	3
		3.4	8.1	0.7	4.7	12.8	0.0	0.0	4.1	1.4	1.4	2.0	2.0
	家事専業、学生、無職	11	23	3	7	12	3	1	7	1	0	4	4
		4.4	9.3	1.2	2.8	4.8	1.2	0.4	2.8	0.4	0.0	1.6	1.6
	不明・無回答	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
		4.8	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8

		新型コロナウイルス感染症に関する人権問題	パワハラ・ハラスメント、アカデミックハラスメント	アイヌの人々の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	不明・無回答	合計
市全体		24	21	1	3	15	37	0	7	0	350	726
		3.3	2.9	0.1	0.4	2.1	5.1	0.0	1.0	0.0	48.2	100.0
職業別	自営業	1	1	0	0	3	9	0	1	0	54	102
		1.0	1.0	0.0	0.0	2.9	8.8	0.0	1.0	0.0	52.9	100.0
	民間正規雇用	6	11	1	2	5	4	0	1	0	75	187
		3.2	5.9	0.5	1.1	2.7	2.1	0.0	0.5	0.0	40.1	100.0
	公務員、教員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7	20
		0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.0	100.0
	非正規雇用	3	6	0	1	2	6	0	3	0	67	148
		2.0	4.1	0.0	0.7	1.4	4.1	0.0	2.0	0.0	45.3	100.0
	家事専業、学生、無職	14	2	0	0	3	17	0	2	0	134	248
		5.6	0.8	0.0	0.0	1.2	6.9	0.0	0.8	0.0	54.0	100.0
	不明・無回答	0	1	0	0	1	1	0	0	0	13	21
		0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	61.9	100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「短大卒」「大学卒」では「2.こどもの人権問題」であり、各々12.7%、11.0%、8.4%、「高校卒」では「5.同和問題(部落差別)」で11.2%となっている。【表4-2-2-4】

【表4-2-2-4 学歴別 一番印象に残っている学習分野】

学歴別	女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題(部落差別)	外国人の人権問題	ヘイトスピーチ	個人情報流出や漏えいの問題	犯罪被害者等の人権問題	ホームレスの人権問題	(上段:人,下段:%)		
											のLGBTなどの性的少数者	回復者などの人権問題	
市全体	27 3.7	70 9.6	6 0.8	24 3.3	62 8.5	6 0.8	4 0.6	27 3.7	4 0.6	4 0.6	20 2.8	14 1.9	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	1 1.4	9 12.7	1 1.4	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	7 2.7	23 8.8	1 0.4	8 3.1	29 11.2	2 0.8	2 0.8	10 3.8	1 0.4	2 0.8	4 1.5	3 1.2
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	5 2.9	19 11.0	1 0.6	6 3.5	17 9.9	1 0.6	0 0.0	6 3.5	2 1.2	0 0.0	6 3.5	3 1.7
	4.大学、大学院	13 6.8	16 8.4	3 1.6	9 4.7	13 6.8	3 1.6	1 0.5	10 5.2	1 0.5	2 1.0	10 5.2	7 3.7
	5.その他	0 0.0	2 18.2	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8

学歴別	新型コロナウイルス問題	カバーミックス・ハズラメント・トア	パワハラ・ハラスメント	アイヌの人々の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	侵害に関する問題	インターネットによる人権	北朝鮮当局による拉致問題	身的取引の問題	性的搾取、強制労働など人権問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	不明・無回答	合計
市全体	24 3.3	21 2.9	1 0.1	3 0.4	15 2.1	37 5.1	0 0.0	7 1.0	0 0.0	350 48.2	726 100.0			
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 2.8	1 1.4	0 0.0	1 1.4	0 0.0	6 8.5	0 0.0	1 1.4	0 0.0	47 66.2	71 100.0		
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	9 3.5	4 1.5	1 0.4	0 0.0	5 1.9	14 5.4	0 0.0	4 1.5	0 0.0	131 50.4	260 100.0		
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	8 4.7	7 4.1	0 0.0	0 0.0	8 4.7	7 4.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0	75 43.6	172 100.0		
	4.大学、大学院	5 2.6	7 3.7	0 0.0	2 1.0	1 0.5	8 4.2	0 0.0	1 0.5	0 0.0	79 41.4	191 100.0		
	5.その他	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 45.5	11 100.0		
	不明・無回答	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 61.9	21 100.0		



4 - 3 . 人権上の問題行動を受けた経験  
 ( 1 ) 人権上問題行動を受けた経験の有無

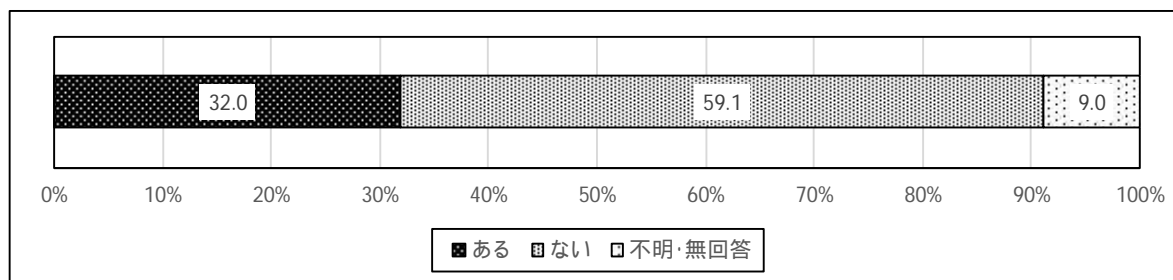
問 1 3 あなたは、最近 5 年間に人権上問題と思われる言動を受けたり、身近で見聞きしたりした経験がありますか。( 1 は 1 つ )

【表 4 - 3 - 1 - 1 問題ある言動を受けた経験の有無】

( 上段 : 人、下段 : % )

	あ る	な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	232 32.0	429 59.1	65 9.0	726 100.0

【図 4 - 3 - 1 問題ある言動を受けた経験の有無】



最近 5 年間での人権上問題と思われる言動を受けたり見聞きした経験を尋ねたところ、「ある」と答えた人の割合は 32.0%であるのに対し、「ない」は 59.1%となっている。

性別で見ると、「ある」と答えた人の割合は、男性 60.6%、女性 59.1%となっている。

年齢別で見ると、「ある」と答えた人の割合は、30歳代が 46.8%で最も高く、次いで 60歳代が 37.9%となっている。【表 4 - 3 - 1 - 2】

【表 4 - 3 - 1 - 2 性別・年齢別 問題ある言動を受けた経験の有無】

		(上段:人、下段:%)			
		あ る	な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		232 32.0	429 59.1	65 9.0	726 100.0
性別	男性	94 32.2	177 60.6	21 7.2	292 100.0
	女性	128 32.3	234 59.1	34 8.6	396 100.0
	その他、回答したくない	4 28.6	7 50.0	3 21.4	14 100.0
	不明・無回答	6 25.0	11 45.8	7 29.2	24 100.0
	不明・無回答	6 30.0	11 40.0	7 30.0	24 100.0
年齢別	10歳代	1 16.7	5 83.3	0 0.0	6 100.0
	20歳代	19 32.8	35 60.3	4 6.9	58 100.0
	30歳代	52 46.8	51 45.9	8 7.2	111 100.0
	40歳代	42 35.6	72 61.0	4 3.4	118 100.0
	50歳代	41 33.6	69 56.6	12 9.8	122 100.0
	60歳代	44 37.9	66 56.9	6 5.2	116 100.0
	70歳以上	27 15.4	123 70.3	25 14.3	175 100.0
	不明・無回答	6 30.0	8 40.0	6 30.0	20 100.0
	不明・無回答	6 30.0	8 40.0	6 30.0	20 100.0

職業別でみると、「ある」と答えた人の割合は、「公務員、教員」が60.0%で最も高く、次いで「民間正規雇用」が40.6%となっている。【表4-3-1-3】

【表4-3-1-3 職業別 問題ある言動を受けた経験の有無】

		(上段:人、下段:%)			
		ある	ない	不明・無回答	合計
市全体		232	429	65	726
		32.0	59.1	9.0	100.0
職業別	自営業	29	59	14	102
		28.4	57.8	13.7	100.0
	民間正規雇用	76	105	6	187
		40.6	56.1	3.2	100.0
	公務員、教員	12	6	2	20
		60.0	30.0	10.0	100.0
	非正規雇用	50	85	13	148
	33.8	57.4	8.8	100.0	
家事専業、学生、無職	59	165	24	248	
	23.8	66.5	9.7	100.0	
不明・無回答	6	9	6	21	
	28.6	42.9	28.6	100.0	

学歴別でみると、「ある」と答えた人の割合は、「大学卒」が42.9%で最も高く、次いで「短大卒」が39.5%となっている。【表4-3-1-4】

【表4-3-1-4 学歴別 問題ある言動を受けた経験の有無】

		(上段:人、下段:%)			
		ある	ない	不明・無回答	合計
市全体		232	429	65	726
		32.0	59.1	9.0	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	14	44	13	71
		19.7	62.0	18.3	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	56	176	28	260
		21.5	67.7	10.8	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	68	95	9	172
		39.5	55.2	5.2	100.0
	4.大学、大学院	82	101	8	191
	42.9	52.9	4.2	100.0	
5.その他	6	5	0	11	
	54.5	45.5	0.0	100.0	
不明・無回答	6	8	7	21	
	28.6	38.1	33.3	100.0	

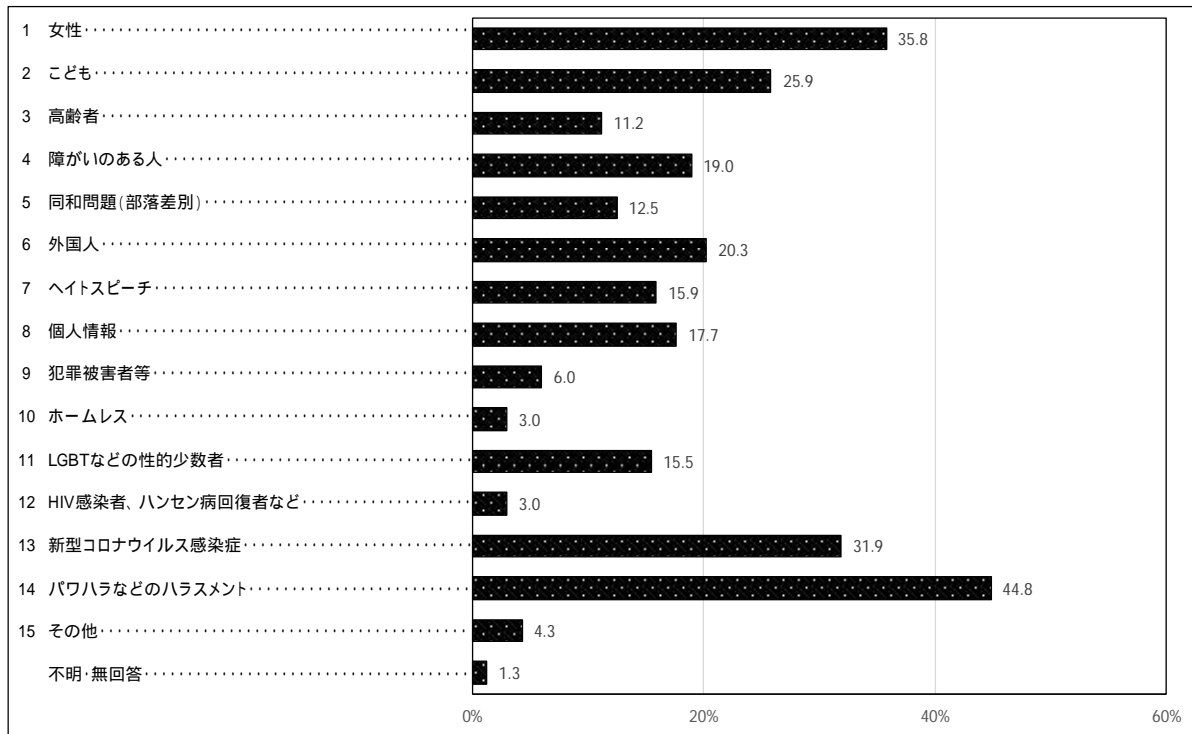
(2) 経験した人権問題の種類

問13-1 それはどのような人権問題に関するものでしたか。(はいいくつでも)

【表4-3-2-1 経験した人権問題の種類】

	(上段:人, 下段: %)															合計	
	女性	子ども	高齢者	障がいのある人	同和問題(部落差別)	外国人	ヘイトスピーチ	個人情報	犯罪被害者等	ホームレス	LGBTなどの性的少数者	HIV感染者、ハンセン病回復者など	新型コロナウイルス感染症	パワハラなどのハラスメント	その他		不明・無回答
市全体	83	60	26	44	29	47	37	41	14	7	36	7	74	104	10	3	232
	35.8	25.9	11.2	19.0	12.5	20.3	15.9	17.7	6.0	3.0	15.5	3.0	31.9	44.8	4.3	1.3	100.0

【図4-3-2 経験した人権問題の種類】



問13で「ある」と答えた人にどのような人権問題に関するものが尋ねたところ、「14.パワハラ、アカハラなどのハラスメント」と答えた人の割合が44.8%と最も高く、次いで「1.女性」が35.8%、「13. 新型コロナウイルス感染症」が31.9%となっている。

性別で見ると、男性では「14.パワハラ、アカハラなどのハラスメント」が 52.1%と最も高く、次いで「13. 新型コロナウイルス感染症」が 26.6%、「1.女性」が 22.3%となっている。

女性では「1.女性」が 44.5%と最も高く、次いで「14.パワハラ、アカハラなどのハラスメント」が 39.1%、「13. 新型コロナウイルス感染症」が 37.5%となっている。

年齢別で見ると、答えた人の割合が最も高いのは、10 歳代、20 歳代、30 歳代、では「1.女性」であり、数値は各々100.0%、57.9%、46.2%となっており、40 歳代、50 歳代、60 歳代では「14.パワハラ、アカハラなどのハラスメント」であり、数値は各々59.5%、48.8%、54.5%、70 歳代以上では「13. 新型コロナウイルス感染症」で 37.0%となっている。なお 10 歳代では「12. HIV 感染者、ハンセン病回復者など」「13. 新型コロナウイルス感染症」も同率となっている。

【表 4 - 3 - 2 - 2】

【表 4 - 3 - 2 - 2 性別・年齢別 経験した人権問題の種類】

		(上段:人,下段:%)																	
		女性	子ども	高齢者	障がいのある人	同和問題 (部落差別)	外国人	ハイトスピーチ	個人情報	犯罪被害者等	ホームレス	者 LGB T などの性的少数	病回復者など、ハンセン	症新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染	の パ ワ ハ ラ ス メ ン ト 、 ア カ ハ ラ な ど	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答	合 計	
市全体		83 35.8	60 25.9	26 11.2	44 19.0	29 12.5	47 20.3	37 15.9	41 17.7	14 6.0	7 3.0	36 15.5	7 3.0	74 31.9	104 44.8	10 4.3	3 1.3	232 100.0	
性別	男性	21 22.3	19 20.2	10 10.6	18 19.1	14 14.9	14 14.9	17 18.1	19 20.2	9 9.6	3 3.2	9 9.6	3 3.2	25 26.6	49 52.1	6 6.4	2 2.1	94 100.0	
	女性	57 44.5	40 31.3	14 10.9	23 18.0	14 10.9	30 23.4	18 14.1	20 15.6	5 3.9	4 3.1	26 20.3	4 3.1	26 37.5	50 39.1	4 3.1	1 0.8	128 100.0	
	その他、回答したくない	3 75.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	
	不明・無回答	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	6 100.0	
年齢別	10歳代	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	
	20歳代	11 57.9	5 26.3	1 5.3	3 15.8	3 15.8	3 15.8	4 21.1	2 10.5	0 0.0	2 10.5	6 31.6	0 0.0	5 26.3	5 26.3	0 0.0	0 0.0	19 100.0	
	30歳代	24 46.2	16 30.8	1 1.9	11 21.2	11 21.2	16 30.8	9 17.3	12 23.1	4 7.7	0 0.0	17 32.7	2 3.8	21 40.4	22 42.3	2 3.8	0 0.0	52 100.0	
	40歳代	19 45.2	13 31.0	4 9.5	8 19.0	5 11.9	8 19.0	5 11.9	9 21.4	2 4.8	0 0.0	6 14.3	0 0.0	13 31.0	25 59.5	2 4.8	0 0.0	42 100.0	
	50歳代	12 29.3	10 24.4	4 9.8	6 14.6	4 9.8	8 19.5	6 14.6	7 17.1	2 4.9	1 2.4	1 2.4	1 2.4	13 31.7	20 48.8	3 7.3	1 2.4	41 100.0	
	60歳代	6 13.6	7 15.9	6 13.6	10 22.7	2 4.5	6 13.6	8 18.2	5 11.4	4 9.1	2 4.5	5 11.4	2 4.5	11 25.0	24 54.5	2 4.5	0 0.0	44 100.0	
	70歳以上	8 29.6	7 25.9	9 33.3	5 18.5	3 11.1	4 14.8	3 11.1	3 11.1	3 3.7	1 3.7	2 7.4	1 3.7	1 3.7	10 37.0	5 18.5	1 3.7	2 7.4	27 100.0
	不明・無回答	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」では「1.女性」「2.子ども」で、ともに44.8%、「民間正規雇用」「公務員、教員」「非正規雇用」では「14.パワハラ、アカハラなどのハラスメント」であり、数値は各々50.0%、66.7%、56.0%、「家事専業、学生、無職」では「13. 新型コロナウイルス感染症」で45.8%となっている。【表4-3-2-3】

【表4-3-2-3 職業別 経験した人権問題の種類】

		(上段:人、下段: %)																	
		女性	子ども	高齢者	障がいのある人	同和問題 (部落差別)	外国人	ヘイトスピーチ	個人情報	犯罪被害者等	ホームレス	者LGBTなどの性的少数	病回復者など	HIV感染者、ハンセン	症新型コロナウイルス感染症	のパワハラ、アカハラなど	その他	不明・無回答	合計
市全体		83	60	26	44	29	47	37	41	14	7	36	7	74	104	10	3	232	
		35.8	25.9	11.2	19.0	12.5	20.3	15.9	17.7	6.0	3.0	15.5	3.0	31.9	44.8	4.3	1.3	100.0	
職業別	自営業	13	13	2	4	4	5	7	5	5	1	4	1	10	8	3	1	29	
		44.8	44.8	6.9	13.8	13.8	17.2	24.1	17.2	17.2	3.4	13.8	3.4	34.5	27.6	10.3	3.4	100.0	
	民間正規雇用	27	19	5	10	10	14	9	15	5	1	12	1	20	38	2	0	76	
		35.5	25.0	6.6	13.2	13.2	18.4	11.8	19.7	6.6	1.3	15.8	1.3	26.3	50.0	2.6	0.0	100.0	
	公務員、教員	6	4	0	4	1	5	2	2	0	0	3	0	1	8	1	0	12	
		50.0	33.3	0.0	33.3	8.3	41.7	16.7	16.7	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3	66.7	8.3	0.0	100.0	
	非正規雇用	15	12	9	12	5	10	9	9	1	1	10	0	15	28	1	1	50	
	30.0	24.0	18.0	24.0	10.0	20.0	18.0	18.0	2.0	2.0	20.0	0.0	30.0	56.0	2.0	2.0	100.0		
家事専業、学生、無職	19	11	9	13	8	11	8	8	3	4	7	5	27	19	3	1	59		
	32.2	18.6	15.3	22.0	13.6	18.6	13.6	13.6	5.1	6.8	11.9	8.5	45.8	32.2	5.1	1.7	100.0		
不明・無回答	3	1	1	1	1	2	2	2	0	0	0	0	1	3	0	0	6		
	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	100.0		

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「13. 新型コロナウイルス感染症」で28.6%、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では「14.パワハラ、アカハラなどのハラスメント」であり、各々42.9%、54.4%、45.1%となっている。【表4-3-2-4】

【表4-3-2-4 学歴別 経験した人権問題の種類】

		(上段:人、下段: %)																	
		女性	子ども	高齢者	障がいのある人	同和問題 (部落差別)	外国人	ヘイトスピーチ	個人情報	犯罪被害者等	ホームレス	者LGBTなどの性的少数	病回復者など	HIV感染者、ハンセン	症新型コロナウイルス感染症	のパワハラ、アカハラなど	その他	不明・無回答	合計
市全体		83	60	26	44	29	47	37	41	14	7	36	7	74	104	10	3	232	
		35.8	25.9	11.2	19.0	12.5	20.3	15.9	17.7	6.0	3.0	15.5	3.0	31.9	44.8	4.3	1.3	100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	2	1	2	1	1	3	1	1	0	1	2	0	4	2	0	1	14	
		14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	21.4	7.1	7.1	0.0	7.1	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	7.1	100.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	17	15	7	13	8	14	8	12	5	2	7	2	20	24	2	1	56	
		30.4	26.8	12.5	23.2	14.3	25.0	14.3	21.4	8.9	3.6	12.5	3.6	35.7	42.9	3.6	1.8	100.0	
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	28	26	5	10	8	10	9	12	2	2	11	1	23	37	4	0	68	
		41.2	38.2	7.4	14.7	11.8	14.7	13.2	17.6	2.9	2.9	16.2	1.5	33.8	54.4	5.9	0.0	100.0	
	4.大学、大学院	33	17	11	18	11	17	17	14	7	2	16	4	24	37	3	0	82	
	40.2	20.7	13.4	22.0	13.4	20.7	20.7	17.1	8.5	2.4	19.5	4.9	29.3	45.1	3.7	0.0	100.0		
5.その他	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	6		
	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	100.0		
不明・無回答	3	1	1	1	1	2	2	2	0	0	0	0	1	3	0	0	6		
	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	100.0		

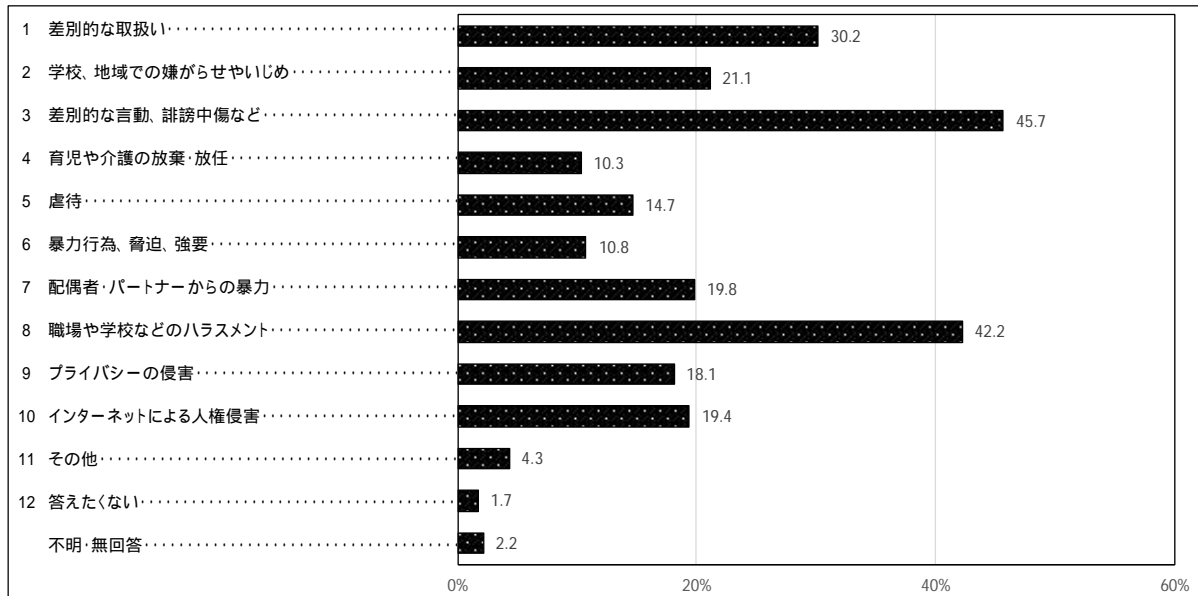
### (3) 経験した人権問題の内容

問13-2 それはどのような内容でしたか。(はいいくつでも)

【表4-3-3-1 経験した人権問題の内容】

	(上段:人, 下段: %)													
	益や会差 な結身的 取婚身分 扱等分の いの出扱 を社生い を会生地 れ上(人種 た等)により 生活等・信 た上(種)条 た等)性 は別 は・性 不・別 利・雇 用・社	学校、地域 における嫌 がらせやい じめ	差別的な言 動、誹謗中 傷、あらぬ うわさ	育児や介 護の放棄・放 任	虐待	暴力行為、 脅迫、強要	配偶者・パ ートナーな だけの暴 力(経済的 なもの等 を含む)	職場や学校 などにおけ るハラハラ ・アカハラ ・セクハラ 等(パワ ハラ)	ブライバ シーの侵害	インターネ ットによる 人権侵害	その他	答えたく ない	不明・無 回答	合計
市全体	70	49	106	24	34	25	46	98	42	45	10	4	5	232
	30.2	21.1	45.7	10.3	14.7	10.8	19.8	42.2	18.1	19.4	4.3	1.7	2.2	100.0

【図4-3-3 経験した人権問題の内容】



経験した人権問題の内容について尋ねたところ、「3. 差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ」と答えた人の割合が45.7%と最も高く、次いで「8. 職場や学校などにおけるハラメント(パワハラ・アカハラ・セクハラ等)」が42.2%、「1. 差別的な取扱い(人種・信条・性別・社会的身分・出生地等により、職業・雇用や結婚等の社会生活上の不平等又は不利益な取扱いをされた)」が30.2%となっている。

性別でみると、男性では「8. 職場や学校などにおけるハラスメント（パワハラ・アカハラ・セクハラ等）」が 41.5%と最も高く、次いで「3. 差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ」が 39.4%、「1. 差別的な取扱い（人種・信条・性別・社会的身分・出生地等により、職業・雇用や結婚等の社会生活上の不平等又は不利益な取扱いをされた）」が 25.5%となっている。

女性では「3. 差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ」が 50.0%と最も高く、次いで「8. 職場や学校などにおけるハラスメント（パワハラ・アカハラ・セクハラ等）」が 42.2%、「1. 差別的な取扱い（人種・信条・性別・社会的身分・出生地等により、職業・雇用や結婚等の社会生活上の不平等又は不利益な取扱いをされた）」が 32.8%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代、20歳代、30歳代、70歳代以上では「3. 差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ」であり、数値は各々100.0%、52.6%、57.7%、40.7%、40歳代、50歳代、60歳代では「8. 職場や学校などにおけるハラスメント（パワハラ・アカハラ・セクハラ等）」あり、数値は各々52.4%、51.2%、52.3%となっている。なお10歳代では「1. 差別的な取扱い（人種・信条・性別・社会的身分・出生地等により、職業・雇用や結婚等の社会生活上の不平等又は不利益な取扱いをされた）」、「9. プライバシーの侵害」「10. インターネットによる人権侵害」も同率となっている。【表4-3-3-2】

【表4-3-3-2 性別・年齢別 経験した人権問題の内容】

		(上段:人, 下段: %)														
		は社会的な取扱い(人種・信条・性別・職業別)又は不利益な取扱いをされた)	学校、地域における嫌がらせやいじめ	さ差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわ	育児や介護の放棄・放任	虐待	暴力行為、脅迫、強要	的・経済的なもの等を含む)	配偶者・パートナーなどからの暴力(パワハラ・アカハラ・セクハラ等)	職場や学校などにおけるハラスメント	プライバシーの侵害	インターネットによる人権侵害	その他	答えたくない	不明・無回答	合計
市全体		70	49	106	24	34	25	46	98	42	45	10	4	5	232	
		30.2	21.1	45.7	10.3	14.7	10.8	19.8	42.2	18.1	19.4	4.3	1.7	2.2	100.0	
性別	男性	24	16	37	7	11	11	13	39	16	18	5	3	4	94	
		25.5	17.0	39.4	7.4	11.7	11.7	13.8	41.5	17.0	19.1	5.3	3.2	4.3	100.0	
	女性	42	32	64	17	21	13	31	54	25	26	5	1	1	128	
		32.8	25.0	50.0	13.3	16.4	10.2	24.2	42.2	19.5	20.3	3.9	0.8	0.8	100.0	
	その他、回答したくない	1	1	2	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4
	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
不明・無回答		3	0	3	0	1	1	1	4	1	1	0	0	0	6	
	50.0	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0	
年齢別	10歳代	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	20歳代	7	7	10	1	3	2	3	5	3	6	0	0	1	19	
		36.8	36.8	52.6	5.3	15.8	10.5	15.8	26.3	15.8	31.6	0.0	0.0	5.3	100.0	
	30歳代	20	6	30	2	8	7	13	19	12	12	2	0	1	52	
		38.5	11.5	57.7	3.8	15.4	13.5	25.0	36.5	23.1	23.1	3.8	0.0	1.9	100.0	
	40歳代	13	8	21	7	5	9	10	22	5	6	3	1	1	42	
		31.0	19.0	50.0	16.7	11.9	21.4	23.8	52.4	11.9	14.3	7.1	2.4	2.4	100.0	
	50歳代	9	13	15	4	5	4	7	21	7	10	1	1	0	41	
		22.0	31.7	36.6	9.8	12.2	9.8	17.1	51.2	17.1	24.4	2.4	2.4	0.0	100.0	
60歳代	11	8	15	5	7	2	7	23	8	7	2	0	1	44		
	25.0	18.2	34.1	11.4	15.9	4.5	15.9	52.3	18.2	15.9	4.5	0.0	2.3	100.0		
70歳以上	6	7	11	4	4	0	5	5	5	2	2	2	1	27		
	22.2	25.9	40.7	14.8	14.8	0.0	18.5	18.5	18.5	7.4	7.4	7.4	3.7	100.0		
不明・無回答		3	0	3	1	2	1	1	3	1	1	0	0	0	6	
	50.0	0.0	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0		



職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」では「1. 差別的な取扱い(人種・信条・性別・社会的身分・出生地等により、職業・雇用や結婚等の社会生活上の不平等又は不利益な取扱いをされた)」で34.5%、「民間正規雇用」「公務員、教員」「非正規雇用」では「8. 職場や学校などにおけるハラスメント(パワハラ・アカハラ・セクハラ等)」であり、数値は各々46.1%、66.7%、58.0%となっており、「家事専業、学生、無職」では「3. 差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ」で49.2%となっている。なお「公務員、教員」では「3. 差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ」も同率となっている。【表4-3-3-3】

【表4-3-3-3 職業別 経験した人権問題の内容】

(上段:人、下段: %)

	は雇社差 不用会的 利や的身 益結分な 取婚取等 扱の出い 扱の社生 を会地人 を生活に た上より の不信 平等業 別又	学校、地 域におけ る嫌がら せやいじ め	さ差 別的な 言動、誹 謗中傷、 あらぬう わ	育 児や介 護の放棄 ・放任	虐 待	暴 力行為、 脅迫、強 要	的(D ・経済的 ・暴力的 なもの等 を含む)	配偶者・ パートナー などから の暴力・ 精神的	職 場や学 校など におけ るセク ハラス ラメン ト	ブ ライバ シーの 侵害	イ ンター ネット による 人権侵 害	そ の他	答 えたく ない	不 明・無 回答	合 計
市全体	70	49	106	24	34	25	46	98	42	45	10	4	5	232	
	30.2	21.1	45.7	10.3	14.7	10.8	19.8	42.2	18.1	19.4	4.3	1.7	2.2	100.0	
職業別	自営業	10	8	9	3	7	3	7	6	8	5	0	2	1	29
		34.5	27.6	31.0	10.3	24.1	10.3	24.1	20.7	27.6	17.2	0.0	6.9	3.4	100.0
	民間正規雇用	16	13	30	6	9	11	14	35	8	12	6	0	2	76
		21.1	17.1	39.5	7.9	11.8	14.5	18.4	46.1	10.5	15.8	7.9	0.0	2.6	100.0
	公務員、教員	1	2	8	2	1	1	1	8	3	2	0	0	0	12
		8.3	16.7	66.7	16.7	8.3	8.3	8.3	66.7	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0
	非正規雇用	21	10	27	5	9	7	8	29	11	9	1	0	1	50
		42.0	20.0	54.0	10.0	18.0	14.0	16.0	58.0	22.0	18.0	2.0	0.0	2.0	100.0
	家事専業、学生、無職	19	16	29	8	7	2	14	17	11	16	3	2	1	59
		32.2	27.1	49.2	13.6	11.9	3.4	23.7	28.8	18.6	27.1	5.1	3.4	1.7	100.0
	不明・無回答	3	0	3	0	1	1	2	3	1	1	0	0	0	6
		50.0	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」「大学卒」では「3. 差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ」であり、数値は各々35.7%、42.9%、53.7%、「短大卒」では「8. 職場や学校などにおけるハラスメント（パワハラ・アカハラ・セクハラ等）」で51.5%となっている。【表4-3-3-4】

【表4-3-3-4 学歴別 経験した人権問題の内容】

		(上段:人、下段: %)														
		差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ	学校、地域における嫌がらせやいじめ	差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ	育児や介護の放棄・放任	虐待	暴力行為、脅迫、強要	性的な暴力を含むもの	配偶者・パートナーなどから精神的・経済的暴力を受ける	職場や学校などにおけるハラスメント（パワハラ・アカハラ・セクハラ等）	プライバシーの侵害	インターネットによる人権侵害	その他	答えたくない	不明・無回答	合計
市全体		70 30.2	49 21.1	106 45.7	24 10.3	34 14.7	25 10.8	46 19.8	98 42.2	42 18.1	45 19.4	10 4.3	4 1.7	5 2.2	232 100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	3 21.4	1 7.1	5 35.7	1 7.1	2 14.3	0 0.0	2 14.3	0 0.0	3 21.4	2 14.3	1 7.1	2 14.3	0 0.0	14 100.0	
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	22 39.3	11 19.6	24 42.9	7 12.5	10 17.9	7 12.5	12 21.4	23 41.1	10 17.9	10 17.9	1 1.8	1 1.8	1 1.8	56 100.0	
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	21 30.9	17 25.0	30 44.1	9 13.2	10 14.7	11 16.2	19 27.9	35 51.5	16 23.5	14 20.6	3 4.4	1 1.5	1 1.5	68 100.0	
	4.大学、大学院	21 25.6	20 24.4	44 53.7	7 8.5	11 13.4	6 7.3	11 13.4	35 42.7	12 14.6	17 20.7	4 4.9	0 0.0	1 1.2	82 100.0	
	5.その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	6 100.0	
	不明・無回答	3 50.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	3 50.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	

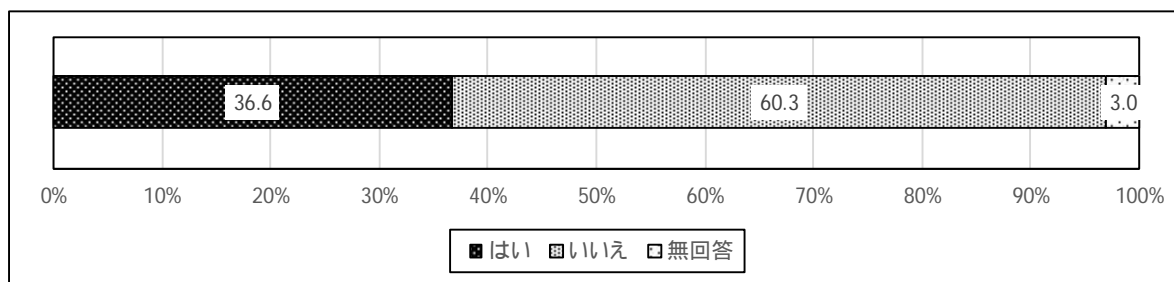
#### (4) 経験した人権問題の対象

問13-3 それは、あなた自身に対するものでしたか。(いずれか1つに )  
 複数のご経験がある場合は、一番印象に残っているものについてお答えください。

【表4-3-4-1 自身に対するものか】

	(上段:人、下段:%)			
	はい	いいえ	不明・無回答	合計
市全体	85 36.6	140 60.3	7 3.0	232 100.0

【図4-3-4 自身に対するものか】



経験した人権問題は自身に対するものかを尋ねたところ、「はい」と答えた人の割合は36.6%であるのに対し、「いいえ」は60.3%となっている。

性別で見ると、「はい」と答えた人の割合は、男性 35.1%、女性 36.7%となっている。

年齢別で見ると、「はい」と答えた人の割合は、30 歳代が 63.5%で最も高く、次いで 20 歳代が 63.2%となっている。【表 4 - 3 - 4 - 2】

【表 4 - 3 - 4 - 2 性別・年齢別 自身に対するものか】

(上段:人、下段:%)

		はい	いいえ	不明・無回答	合計
市全体		85	140	7	232
		36.6	60.3	3.0	100.0
性別	男性	33	56	5	94
		35.1	59.6	5.3	100.0
	女性	47	79	2	128
		36.7	61.7	1.6	100.0
	その他、回答したくない	2	2	0	4
	50.0	50.0	0.0	100.0	
年齢別	不明・無回答	3	3	0	6
		50.0	50.0	0.0	100.0
	10歳代	0	1	0	1
		0.0	100.0	0.0	100.0
	20歳代	7	12	0	19
		36.8	63.2	0.0	100.0
	30歳代	18	33	1	52
		34.6	63.5	1.9	100.0
	40歳代	17	24	1	42
	40.5	57.1	2.4	100.0	
50歳代	15	25	1	41	
	36.6	61.0	2.4	100.0	
60歳代	15	27	2	44	
	34.1	61.4	4.5	100.0	
70歳以上	11	15	1	27	
	40.7	55.6	3.7	100.0	
不明・無回答	2	3	1	6	
	33.3	50.0	16.7	100.0	

職業別でみると、「はい」と答えた人の割合は、「非正規雇用」が46.0%で最も高く、次いで「家事専業、学生、無職」が40.7%となっている。【表4-3-4-3】

【表4-3-4-3 職業別 自身に対するものか】

(上段:人、下段:%)

		はい	いいえ	不明・無回答	合計
市全体		85	140	7	232
		36.6	60.3	3.0	100.0
職業別	自営業	11	14	4	29
		37.9	48.3	13.8	100.0
	民間正規雇用	22	52	2	76
		28.9	68.4	2.6	100.0
	公務員、教員	2	10	0	12
		16.7	83.3	0.0	100.0
	非正規雇用	23	27	0	50
	46.0	54.0	0.0	100.0	
家事専業、学生、無職	24	34	1	59	
	40.7	57.6	1.7	100.0	
不明・無回答	3	3	0	6	
	50.0	50.0	0.0	100.0	

学歴別でみると、「はい」と答えた人の割合は、「中学卒」が42.9%で最も高く、次いで「高校卒」が39.3%となっている。【表4-3-4-4】

【表4-3-4-4 学歴別 自身に対するものか】

(上段:人、下段:%)

		はい	いいえ	不明・無回答	合計
市全体		85	140	7	232
		36.6	60.3	3.0	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	6	8	0	14
		42.9	57.1	0.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	22	32	2	56
		39.3	57.1	3.6	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	20	45	3	68
		29.4	66.2	4.4	100.0
	4.大学、大学院	30	51	1	82
	36.6	62.2	1.2	100.0	
5.その他	4	1	1	6	
	66.7	16.7	16.7	100.0	
不明・無回答	3	3	0	6	
	50.0	50.0	0.0	100.0	

(5) 人権問題への対応

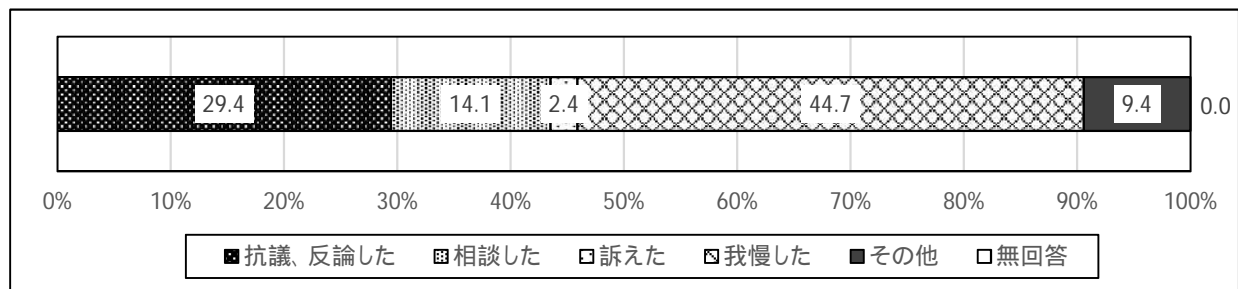
問13 - 4a どう対応しましたか。(いずれか1つに)

【表4 - 3 - 5 - 1 対応の内容】

(上段:人、下段:%)

	抗議、 反論した	相談した	訴えた	我慢した	その他	不明・ 無回答	合計
市全体	25 29.4	12 14.1	2 2.4	38 44.7	8 9.4	0 0.0	85 100.0

【図4 - 3 - 5 対応の内容】



自身に対する人権問題にどう対応したか尋ねたところ、「我慢した」と答えた人の割合が44.7%と最も高く、次いで「抗議、反論した」が29.4%、「相談した」が14.1%となっている。

性別で見ると、男性では「我慢した」が45.5%と最も高く、次いで「抗議、反論した」が27.3%、「その他」が15.2%となっている。

女性では「我慢した」が44.7%と最も高く、次いで「抗議、反論した」が27.7%、「相談した」が21.3%となっている。

年齢別で見ると、答えた人の割合が最も高いのは、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上では「我慢した」であり、数値は各々57.1%、47.1%、60.0%、40.0%、45.5%となっており、30歳代では「相談した」で38.9%となっている。なお60歳代では「抗議、反論した」が同率となっている。【表4-3-5-2】

【表4-3-5-2 性別・年齢別 対応の内容】

(上段:人、下段: %)

		抗議、 反論した	相談した	訴えた	我慢した	その他	不明・ 無回答	合計
市全体		25 29.4	12 14.1	2 2.4	38 44.7	8 9.4	0 0.0	85 100.0
性別	男性	9 27.3	2 6.1	2 6.1	15 45.5	5 15.2	0 0.0	33 100.0
	女性	13 27.7	10 21.3	0 0.0	21 44.7	3 6.4	0 0.0	47 100.0
	その他、回答したくない	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	不明・無回答	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0
	年齢別	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	1 14.3	2 28.6	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	7 100.0	
30歳代	4 22.2	7 38.9	1 5.6	5 27.8	1 5.6	0 0.0	18 100.0	
40歳代	6 35.3	1 5.9	0 0.0	8 47.1	2 11.8	0 0.0	17 100.0	
50歳代	3 20.0	1 6.7	0 0.0	9 60.0	2 13.3	0 0.0	15 100.0	
60歳代	6 40.0	1 6.7	1 6.7	6 40.0	1 6.7	0 0.0	15 100.0	
70歳以上	4 36.4	0 0.0	0 0.0	5 45.5	2 18.2	0 0.0	11 100.0	
不明・無回答	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」では「抗議、反論した」「我慢した」で、ともに36.4%、「公務員、教員」では「抗議、反論した」「相談した」で、ともに50.0%、「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では「我慢した」であり、数値は各々63.6%、47.8%、33.3%となっている。【表4-3-5-3】

【表4-3-5-3 職業別 対応の内容】

(上段:人、下段: %)

		抗議、 反論した	相談した	訴えた	我慢した	その他	不明・ 無回答	合計
市全体		25	12	2	38	8	0	85
		29.4	14.1	2.4	44.7	9.4	0.0	100.0
職業別	自営業	4	2	1	4	0	0	11
		36.4	18.2	9.1	36.4	0.0	0.0	100.0
	民間正規雇用	4	1	0	14	3	0	22
		18.2	4.5	0.0	63.6	13.6	0.0	100.0
	公務員、教員	1	1	0	0	0	0	2
		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	非正規雇用	8	2	0	11	2	0	23
		34.8	8.7	0.0	47.8	8.7	0.0	100.0
	家事専業、学生、無職	6	6	1	8	3	0	24
		25.0	25.0	4.2	33.3	12.5	0.0	100.0
	不明・無回答	2	0	0	1	0	0	3
		66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0



学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「抗議、反論した」「我慢した」で、ともに 33.3%、「高校卒」では「抗議、反論した」で 45.5%、「短大卒」「大学卒」では「我慢した」で各々60.0%、43.3%となっている。【表4 - 3 - 5 - 4】

【表4 - 3 - 5 - 4 学歴別 対応の内容】

(上段:人、下段: %)

		抗議、 反論した	相談した	訴えた	我慢した	その他	不明・ 無回答	合計
市全体		25 29.4	12 14.1	2 2.4	38 44.7	8 9.4	0 0.0	85 100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 33.3	1 16.7	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	6 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	10 45.5	1 4.5	0 0.0	9 40.9	2 9.1	0 0.0	22 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3 15.0	4 20.0	0 0.0	12 60.0	1 5.0	0 0.0	20 100.0
	4.大学、大学院	6 20.0	6 20.0	2 6.7	13 43.3	3 10.0	0 0.0	30 100.0
	5.その他	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	4 100.0
	不明・無回答	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0

( 6 ) 人権問題への対応の結果

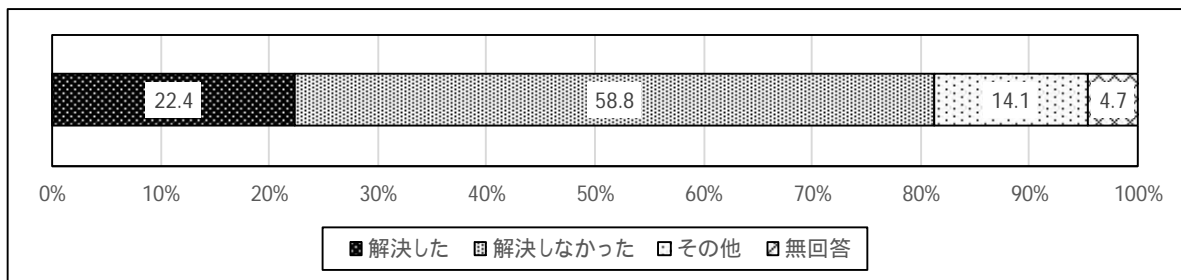
問 1 3 - 5 最終的に解決しましたか。(いずれか1つに )

【表 4 - 3 - 6 - 1 対応の結果】

(上段:人、下段:%)

	解決した	解決しなかった	その他	不明・無回答	合計
市全体	19 22.4	50 58.8	12 14.1	4 4.7	85 100.0

【図 4 - 3 - 6 対応の結果】



自身に対する人権問題が最終的に解決したか尋ねたところ、「解決しなかった」と答えた人の割合が 58.8%と最も高く、「解決した」は 22.4%となっている。

性別でみると、「解決した」と答えた人の割合は、男性 21.2%、女性 21.3%となっている。

年齢別でみると、「解決した」と答えた人の割合は、20歳代が 42.9%で最も高く、次いで 40歳代が 29.4%となっている。【表 4 - 3 - 6 - 2】

【表 4 - 3 - 6 - 2 性別・年齢別 対応の結果】

(上段:人、下段: %)

		解決した	解決しなかった	その他	不明・無回答	合計
市全体		19 22.4	50 58.8	12 14.1	4 4.7	85 100.0
性別	男性	7 21.2	17 51.5	5 15.2	4 12.1	33 100.0
	女性	10 21.3	31 66.0	6 12.8	0 0.0	47 100.0
	その他、回答したくない	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	不明・無回答	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	3 100.0
	年齢別	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	3 42.9	4 57.1	0 0.0	0 0.0	7 100.0
	30歳代	5 27.8	10 55.6	3 16.7	0 0.0	18 100.0
	40歳代	5 29.4	10 58.8	2 11.8	0 0.0	17 100.0
	50歳代	2 13.3	10 66.7	2 13.3	1 6.7	15 100.0
	60歳代	2 13.3	9 60.0	3 20.0	1 6.7	15 100.0
	70歳以上	1 9.1	6 54.5	2 18.2	2 18.2	11 100.0
	不明・無回答	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

職業別でみると、「解決した」と答えた人の割合は、「公務員、教員」が 100.0%で最も高く、次いで「自営業」が 27.3%となっている。【表 4 - 3 - 6 - 3】

【表 4 - 3 - 6 - 3 職業別 対応の結果】

(上段:人、下段: %)

		解決した	解決しなかった	その他	不明・無回答	合計
市全体		19	50	12	4	85
		22.4	58.8	14.1	4.7	100.0
職業別	自営業	3	7	1	0	11
		27.3	63.6	9.1	0.0	100.0
	民間正規雇用	3	13	5	1	22
		13.6	59.1	22.7	4.5	100.0
	公務員、教員	2	0	0	0	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	非正規雇用	4	15	3	1	23
	17.4	65.2	13.0	4.3	100.0	
家事専業、学生、無職	5	14	3	2	24	
	20.8	58.3	12.5	8.3	100.0	
不明・無回答	2	1	0	0	3	
	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	

学歴別でみると、「解決した」と答えた人の割合は、「高校卒」が 27.3%で最も高く、次いで「大学卒」が 23.3%となっている。【表 4 - 3 - 6 - 4】

【表 4 - 3 - 6 - 4 学歴別 対応の結果】

(上段:人、下段: %)

		解決した	解決しなかった	その他	不明・無回答	合計
市全体		19	50	12	4	85
		22.4	58.8	14.1	4.7	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	1	3	1	1	6
		16.7	50.0	16.7	16.7	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	6	13	2	1	22
		27.3	59.1	9.1	4.5	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3	16	1	0	20
		15.0	80.0	5.0	0.0	100.0
	4.大学、大学院	7	15	6	2	30
	23.3	50.0	20.0	6.7	100.0	
5.その他	0	2	2	0	4	
	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	
不明・無回答	2	1	0	0	3	
	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	

( 7 ) 自分以外の人権問題への対応

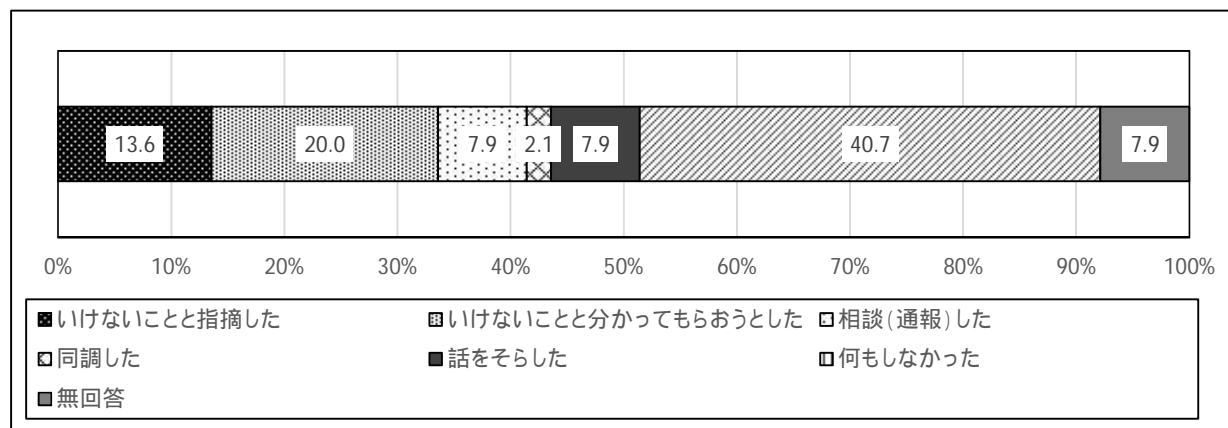
問13 - 4b どう対応しましたか。(いずれか1つに )

【表4 - 3 - 7 - 1 自分以外の人権問題への対応】

(上段:人、下段: %)

	いけないことと指摘した	いけないことと分かってもらおうとした	相談(通報)した	同調した	話をそらした	何もしなかった	不明・無回答	合計
市全体	19 13.6	28 20.0	11 7.9	3 2.1	11 7.9	57 40.7	11 7.9	140 100.0

【図4 - 3 - 7 自分以外の人権問題への対応】



自身以外への人権問題にどう対応したか尋ねたところ、「何もしなかった」と答えた人の割合が40.7%と最も高く、次いで「いけないことと分かってもらおうとした」が20.0%、「いけないことと指摘した」が13.6%となっている。

性別で見ると、男性では「何もしなかった」が42.9%と最も高く、次いで「いけないことと分か  
ってもらおうとした」が23.2%、「いけないことと指摘した」「話をそらした」がともに10.7%とな  
っている。

女性では「何もしなかった」が40.5%と最も高く、次いで「いけないことと分か  
ってもらおうとした」が19.0%、「いけないことと指摘した」が16.5%となっている。

年齢別で見ると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代が「いけないことと分か  
ってもらおうとした」が100.0%、20歳代以上で「何もしなかった」であり、数値は20歳代50.0%、30歳代45.5%、  
40歳代37.5%、50歳代40.0%、60歳代37.5%、70歳代以上40.0%となっている。

【表4-3-7-2】

【表4-3-7-2 性別・年齢別 自分以外の人権問題への対応】

(上段:人、下段: %)

		い け な い こ と と 指 摘 し た	も い ら お う と し た こ と と 分 か っ て	相 談 ( 通 報 ) し た	同 調 し た	話 を そ ら し た	何 も し な か っ た	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		19 13.6	28 20.0	11 7.9	3 2.1	11 7.9	57 40.7	11 7.9	140 100.0
性別	男性	6 10.7	13 23.2	1 1.8	1 1.8	6 10.7	24 42.9	5 8.9	56 100.0
	女性	13 16.5	15 19.0	8 10.1	2 2.5	3 3.8	32 40.5	6 7.6	79 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
年齢別	10歳代	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	20歳代	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	2 16.7	6 50.0	1 8.3	12 100.0
	30歳代	7 21.2	5 15.2	1 3.0	0 0.0	3 9.1	15 45.5	2 6.1	33 100.0
	40歳代	5 20.8	4 16.7	2 8.3	0 0.0	2 8.3	9 37.5	2 8.3	24 100.0
	50歳代	3 12.0	4 16.0	4 16.0	2 8.0	1 4.0	10 40.0	1 4.0	25 100.0
	60歳代	3 11.1	8 29.6	2 7.4	0 0.0	1 3.7	10 37.0	3 11.1	27 100.0
	70歳以上	0 0.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	1 6.7	6 40.0	2 13.3	15 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	3 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」では「いけないことと分かってもらおうとした」「何もしなかった」で、ともに 28.6%、「公務員、教員」では「いけないことと分かってもらおうとした」で 40.0%、「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では「何もしなかった」であり、数値は各々50.0%、29.6%、44.1%となっている。【表 4 - 3 - 7 - 3】

【表 4 - 3 - 7 - 3 職業別 自分以外の人権問題への対応】

(上段:人、下段: %)

		いけないことと指摘した	もらえないことと分かって	相談(通報)した	同調した	話をそらした	何もしなかった	不明・無回答	合計
市全体		19	28	11	3	11	57	11	140
		13.6	20.0	7.9	2.1	7.9	40.7	7.9	100.0
職業別	自営業	4	0	1	1	2	4	2	14
		28.6	0.0	7.1	7.1	14.3	28.6	14.3	100.0
	民間正規雇用	6	10	4	1	2	26	3	52
		11.5	19.2	7.7	1.9	3.8	50.0	5.8	100.0
	公務員、教員	3	4	0	0	0	3	0	10
		30.0	40.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	100.0
	非正規雇用	3	6	5	0	3	8	2	27
		11.1	22.2	18.5	0.0	11.1	29.6	7.4	100.0
	家事専業、学生、無職	3	8	0	1	3	15	4	34
		8.8	23.5	0.0	2.9	8.8	44.1	11.8	100.0
	不明・無回答	0	0	1	0	1	1	0	3
		0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「話をそらした」で37.5%、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では「何もしなかった」であり、各々37.5%、40.0%、47.1%となっている。【表4-3-7-4】

【表4-3-7-4 学歴別 自分以外の人権問題への対応】

(上段:人、下段: %)

		いけないことと指摘した	もいけないうことと分かって	相談(通報)した	同調した	話をそらした	何もしなかった	不明・無回答	合計
市全体		19	28	11	3	11	57	11	140
		13.6	20.0	7.9	2.1	7.9	40.7	7.9	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	0	2	0	0	3	2	1	8
		0.0	25.0	0.0	0.0	37.5	25.0	12.5	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	5	8	1	0	2	12	4	32
		15.6	25.0	3.1	0.0	6.3	37.5	12.5	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	5	7	7	3	1	18	4	45
		11.1	15.6	15.6	6.7	2.2	40.0	8.9	100.0
	4.大学、大学院	9	11	2	0	3	24	2	51
		17.6	21.6	3.9	0.0	5.9	47.1	3.9	100.0
	5.その他	0	0	0	0	1	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
不明・無回答	0	0	1	0	1	1	0	3	
	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	100.0	